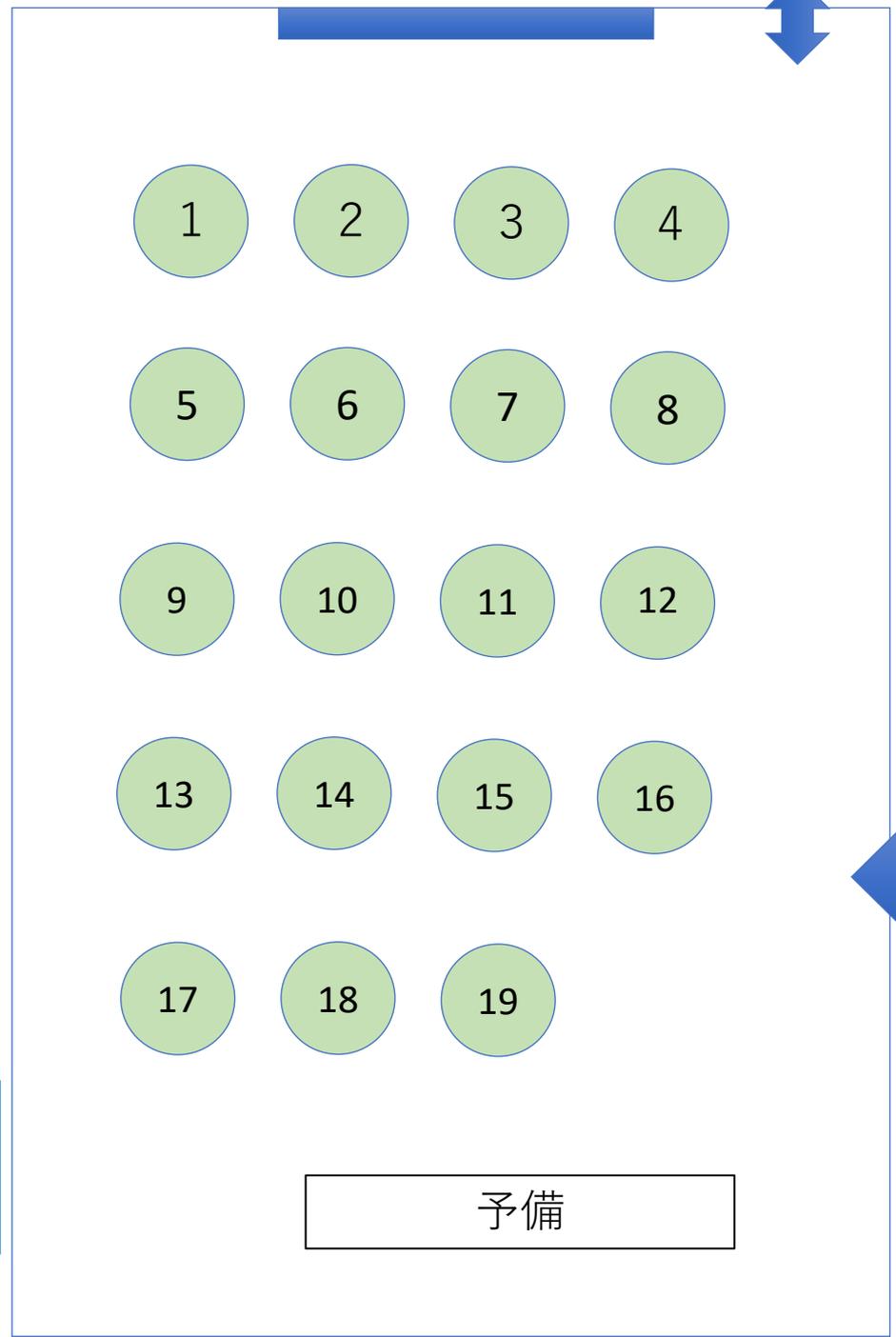


座り方: フィードバックシート右上の番号のグループに着席を

4人組。そのどこでもOK。

19グループ × 4人 = 76人

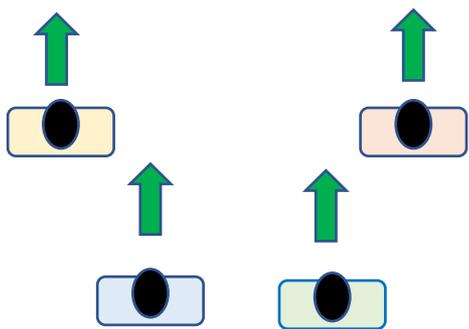


「えんたくん」 2つの座り方

適宜切り替えてくださいね。

講義モード

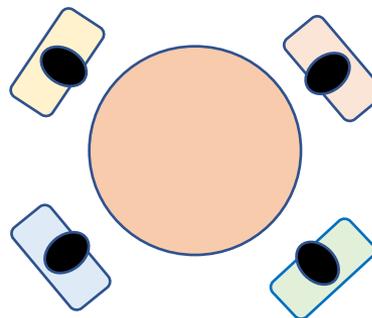
スクリーン・モニターが見やすいように前を向く。
(えんたくん、不要)



前方の二人、あっち向いたりこっち向いたり大変ですが、4面スクリーンがあるわけではないので、どうぞよろしく。

対話モード

お互いがよく見えるように、えんたくんを膝の上に置いて、きちんと向き合う。



LAH.H107

コミュニケーション論B

2022年度3Q月・木1/2限 (8:50-10:30)

第1回：オリエンテーション

2022.10.3

リベラルアーツ研究教育院(ILA) 教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com

特別参加：高尾隆先生

ティーチングアシスタント (TA)：柳川総太郎

ようこそ「コミュ論B」へ！

- 3年ぶりの対面授業！約75名。
- 学生同士の対話を重視、**双方向・参加型**の実践的授業。
 - 立志プロジェクトの少人数クラスの精神を継承。
- **一人ひとりが大事**です。
 - 「自分がいてもいなくても変わらない」授業ではない！
- 皆さん一人ひとりの**積極的な参加と協力**が必要。
 - 少人数グループをたくさん作ります。（準備ボラ募集！）
 - 仲間とたくさん話し合います。一緒に考え、学び合います。
 - 人と話すの苦手？大丈夫、ゆっくり、少しずつ、慣れよう。
- コミュ論Aを取った方、一部重なるけど復習して先へ。

記録のための撮影のお願い

- 中野は65歳になり、今年度で定年退職。
- 専門のワークショップやファシリテーションを活かし、学生同士の対話を重視した参加型授業を展開してきた。（アクティブラーニングの先駆け）
- 立志プロジェクト少人数クラスや全学のイベントで対話の文化を普及。コロナでちょっとストップ。
- 今回の最後の授業を、東工大教育革新センター（CITL）記録してくれることになりました。
 - この記録をどう活用するかはまだ未確定。
- 撮影をご了承ください。万一、写るのは困るという方は、申し出てください。配慮します。
 - 今日最後に、同意書を回収させていただきます。

第1回：全体のオリエンテーション 今日のアジェンダ

- 8:50-オリエンテーション、授業の概要
- 9:10-導入ワーク：小グループチェックイン
- 9:30-自己紹介を兼ねて、
「コミュニケーションの様々な形」
 - 最後に、コミュニケーションデザイン
 - 今なぜ対話か
- 10:
- 10:25-フィードバックシート記入

概要とねらい

<シラバスより>

- 簡単な正解のない様々な課題に対して、多様な人々の「協働」や「共創」が求められる時代に、人と人が対面して話し合う生身のコミュニケーション力を高める。
- また、自ら良き話し手や聴き手になるだけでなく、人々が集い話し合う場を創って円滑に進行する「ファシリテーション」の基礎を身につける。
- ねらいは、今後のチームでの研究活動や仕事など、協働・共創の場に不可欠なコミュニケーション力と、参加型の場を創って進行するファシリテーションの基礎を、楽しいワークショップ体験を通じて身につけること。

到達目標

<シラバスより>

- 1) 初対面の人とでも、創造的な対話を楽しむことができる対人コミュニケーションの力。
- 2) 人々が集い楽しく話し合える場を創り、円滑に進行できるファシリテーションの基礎。
- 3) 自分でテーマを設定しオリジナルワークショップを企画し、プログラムをデザインする。

実務経験と講義内容との関連

- 30年広告会社でコミュニケーションによる課題解決の仕事、25年の参加体験型ワークショップをファシリテート（進行促進）してきた。
→問題が複雑化し簡単な正解がない時代に、多様な人々が楽しく協働・共創できる場を作れる人（ファシリテーター）を育むべく奮闘している。
- コミュニケーション論Bでは、
「聴く力」をベースとした対話力、
「伝わる」ための表現力に加えて、
「話しやすい場」を創る実践的なファシリテーション力の基礎を養う = **ファシリテーター養成講座**

授業の進め方

<シラバスより>

- 教員からの一方的な講義ではなく、小グループで受講生が主体となって話し合い、ともに考え創造していく参加体験型のワークショップ形式で行う。
- 前半は、小グループでの自己紹介や対話、ペアでのインタビュー、全員参加のワールドカフェというワークショップなどを経験する。
- 後半は、人が集う場をデザインし進行するファシリテーションについて実践的に学ぶ。
- 最後に、全員が20分のミニワークを企画し、9人程のグループで交代でファシリテートする。体験とフィードバックを通して学び合う。 (何やりたい?)

授業計画前半

詳細は様子を見ながら検討

1. 10/3 オリエン、グループワーク体験
2. 10/6 WS入門：聴くことと話すこと
*10/10休み
3. 10/13 相互インタビュー
4. 10/17 ワールドカフェ：全員参加の対話
5. 10/20 ファシリテーション(F)入門
6. 10/24 F基礎スキル①：場づくり
7. 10/27 F基礎スキル②：グループサイズ、問い
*10/31、11/3休み

授業計画後半

詳細は様子を見ながら検討

8. 11/7 スキル③：見える化・プログラムデザイン
9. 11/10 自分が創りファシリテートしたい場
10. 11/14 ファシリテーター実習に向けて準備
11. 11/17 ファシリテーター実習①
12. 11/21 ファシリテーター実習②
13. 11/24 ファシリテーター実習③
- 14/ 11/28 全体ふりかえり：最終レポートを元に

時間外・教科書・成績など

- 授業時間外学修（予習・復習等）：「毎授業」授業内容に関する予習と復習（課題含む）をそれぞれ概ね100分を目安に行うこと。→**軽めにします。**
- 参考書：『学び合う場のつくり方』（中野民夫著、岩波書店）
- 成績評価：授業への参加度（毎回の宿題と積極的なフル参加）：**70%**、最終課題とレポート：**30%**
- 履修条件：積極的な参加。**遅刻**はグループワークの妨げになるので**認めない**。**朝早くて大変**だけど。

まとめると（参加の心得）

- 皆で創る参加型の場 = 対話を重視し学び合う
- コミュニケーション = 関係を紡ぐ
- 自分自身も他者も大事に
- 遅刻注意！

では、さっそく導入ワーク

A4紙と水性カラーマーカー

導入ワーク①：チェックイン

- 「どんな人がどんな思いでここにいるの？」
 - 会の初めに全員が一言ずつ話して共有すること。
 - くじで4人組。何かのご縁。関心を向け聴き合おう。
- A4紙を四つ折り
 - 自己紹介シート作り（今後も持ち歩いて）
- お題（問い）に対するキーワードを大きく書く
 - 次頁の項目のまず1）と2）について大きく書いて。

1) どの誰
所属、名前（出身、
サークルなど）

2) 好きなこと・
この夏の思い出

導入ワーク①：チェックイン

- 話す順番は、**中野から一番遠い人から時計回り**。
- 一人ずつシートを見せながら。
 - 時間：1) と2) 合わせて、一人1分、計4分少々
 - 時間余ったら自由に質問しあおう。

いかがでしたか？

ここらで一曲

CD 「自分の至福についていこう」

オリジナルソング14曲収録



Amazonで
買えます！

美しく生きるヒント

2018.2.11@本然庵

1.
きっとどこかで、もうずっと知ってたはずなのに
つい反対のことばかり、やってきて疲れたよ
人と比べて競い合って勝ったの負けたのと
頑張らなきゃダメ、速くたくさんやらなきゃと

*
**内側から、美しく強く生きるには
比べない、頑張らない、ゆっくり丁寧に
内側から、美しく楽に生きるヒント
比べない、頑張らない、ゆっくり丁寧に**

2.
比べてしまうと、周りの人みんなすごく思え
うらやんだり自分なんかダメだと落ち込んだり
でも人には、人それぞれ苦節の歴史あり
私は私だけしか書けない、物語つづろう

3.
もっと頑張れ、努力すれば報われるはずと
でも無理してると結局、長くは続かない
楽しいこと、心地良いこと自然に続く
好きこそものの上手なれって昔から言うよね

4.
速く速く、できる奴は仕事速いよと
目一杯走ってきたけれど、心にすきま風
今この、ひとつひとつに気持ちを込めて
ゆっくり丁寧に心ある道歩いていこう

*
**内側から、美しく強く生きるには
比べない、頑張らない、ゆっくり丁寧に
内側から、美しく楽に生きるヒント
比べない、頑張らない、ゆっくり丁寧に**

導入ワーク②

- いかがでしたか？
- さらに、もう少しお互いに知り合おう。
- 3) と 4) について話しあうので、先に記入を。
 - **3) どうよ今の歌？（比べない、頑張らない、ゆっくり丁寧に）**
 - **4) 今の時点での「志（やりたいこと・夢）」**
- 先の順番で。今度は一人2分。
 - 短すぎるのもダメ。本人が詰まったら質問を。
 - 計10分。余った時間は互いに興味を持って、質問し合い、自由に深めあおう。

3) どうよ今の
歌? (比べない、
頑張らない、ゆっ
くり丁寧に)

4) 今の時点での
「志」 (やりたい
こと、夢)

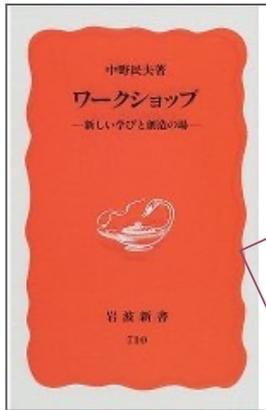
全体で、少しふりかえり

- 小グループでの対話、どんな雰囲気、印象でしたか？どんな気づきや発見がありましたか？
- 少人数での対話と、全体でのわかちあい（学びの共有）を、行き来したく。

中野民夫プロフィール

- **東京工業大学** リベラルアーツ研究教育院、
環境社会理工学院社会・人間科学コース 教授
 - コミュニケーション論、参加型の場づくり（ワークショップ・ファシリテーション）、マインドフルネス
- **博報堂に30年(1982～2012)**
 - 企業の社会貢献、愛知万博「地球市民村」、環境等社会テーマ系
 - 2012年に同志社大学教授に
- **ワークショップ企画プロデューサー**
 - 90年前後に米留学、組織開発・変革学修士
 - 市民活動、NPO/NGO、企業、行政、まちづくり、研修、学校教育等
- **遅咲きのシンガーソングライター**
- **屋久島「本然庵」主宰**
- 日本環境教育フォーラム(JEEF)理事、日本ファシリテーション協会フェロー、Be-Nature Schoolファシリテーション講座監修

主な著作



18刷!

ワークショップ
新しい学びと創造の場
(岩波新書、2001)



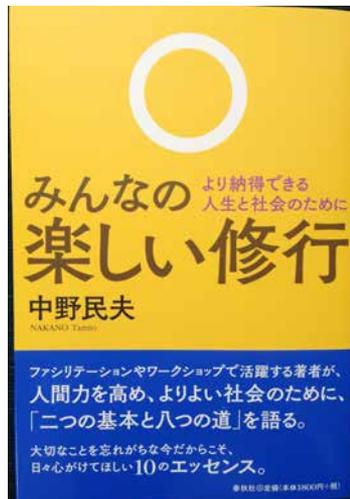
9刷!

ファシリテーション革命
参加型の場づくりの技法
(岩波アクティブ新書、2003)
*現在、電子出版のみ



8刷!

ファシリテーション
実践から学ぶスキルとところ
(共著、岩波書店、2009)



みんなの楽しい修行
より納得できる人生と社会のために
(春秋社、2014)



スピリチュアリティと教育
(共著、ビイング・ネット・プレス、2015)



2刷!

ファシリテーションで大学が変わる
(共編著、ナカニシヤ、2016)²⁶



6刷!



What one learns at university

僕は大学時代、
何よりも旅から学んだ。

中野民夫



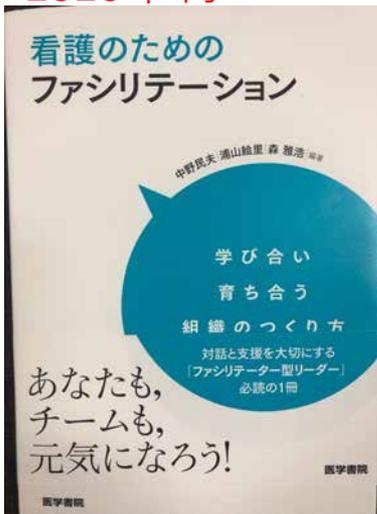
学び合う場の作り方

一本物の学びへのファシリテーション
(岩波書店2017) コミB教科書

えんたくん革命

1枚のダンボールがファシリテーションと対話と世界を変える
(川嶋直と共著、みくに出版2018)

2020年刊



看護のためのファシリテーション

学び合い育ち合う組織の
作り方
(中野民夫・浦山絵里・森雅浩
著、医学書院、2020)



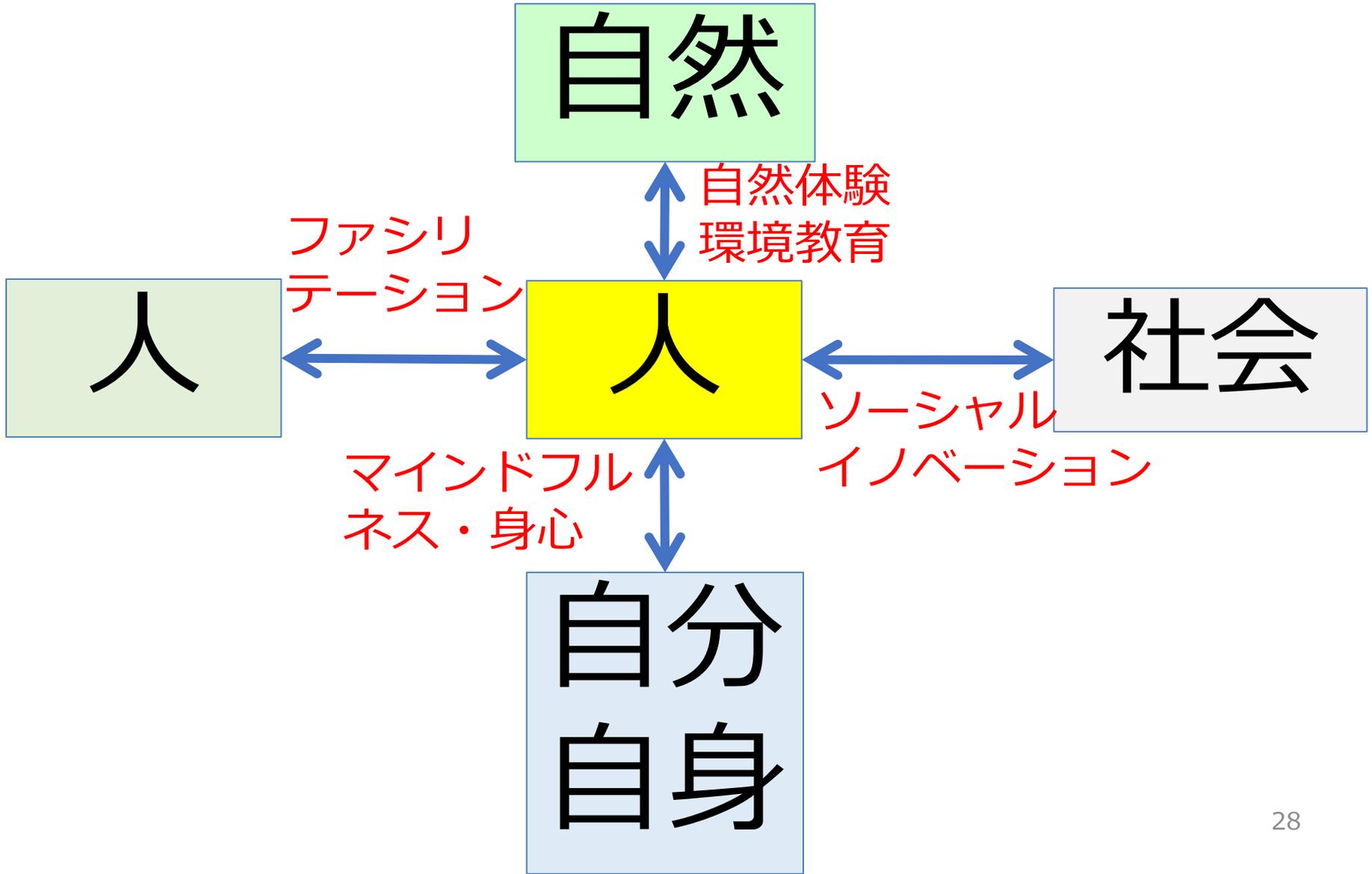
新・大学で何を学ぶか

(上田紀行編著、岩波ジュニア新書、2020)

* 東工大リベラルアーツ研究
教育院の13人の先生たちの共
著

* 「僕は大学時代、何よりも旅
から学んだ」(中野)

人と人・自然・自分自身、社会を「つなぎ直す」仕事
the work that re-connect



「自分の至福についていこう」 = 若い人たちへのメッセージ

- “Follow your bliss!” by Joseph Campbell
 - 「自分の至福を追求しなさい」
 - 「自分の至福、気になることについていこう！」
 - 自動詞の連鎖によるやさしい革命
- 若者よ、旅せよ、恋せよ、大志を抱け！
 - 「余計なことしないで何の人生か？」
 - 試練・失敗こそ、いつかきらめく宝物

コミュニケーションって？

- コミュニケーションって何？
- と言われて、思い浮かぶことは？
- に書いてみて。
- グループで3分間、話し合い。

「コミュニケーション」って何？

- 情報の伝達？（知的）
- 意志の疎通？（意志）
- 気持ちが通うこと？（感情）
- 互いに理解し合うこと？双方向？
- 言葉だけ？
- 映像は？歌や音楽は？
- イベントは？
- プレゼントは？
 - たくさんの切り口がある。

コミュニケーションは「意味」と「感情」のやりとり（斎藤孝）

例えば、気持ちを伝えてるのに、「結論はなんだ」

コミュニケーションには 多様な形がある

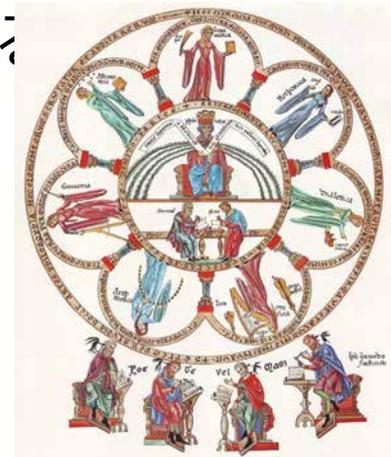
東工大での実践をもとに。



「コミュニケーションのデザイン」
について考えていくために

リベラルアーツ研究教育院 (**ILA**: Institute for Liberal Arts)

- 大学改革（2016年度～）
 - ①複雑な組織を6学院に統合、②世界を見据え4Q制、③リベラルアーツを重視しILAを創設
- 「リベラルアーツ研究教育院(**ILA**)」
 - Institute for **Liberal Arts** 人を自由にする
- 理工系の専門性だけでなく、**社会性**・**人間性**・**創造性**を育み、人としての教養を深め、**大きな志**を抱こう！
- 文系教養・英語・第二外国語・ウェルネス・日本語・教職約60人



自由七科：文法学・修辞学・論理学
および算術・幾何・天文学・音楽

ILIAホームページ。ぜひチェックを！

Vision

理工系の知識を社会へつなぐための知性と人間性を養う

▶ リベラルアーツ研究教育院のヴィジョン

Interview

リベラルアーツの先生、語る

▶ 教員インタビュー

リベラルアーツ研究教育院 News

News一覧

FEATURE

2022.09.14

▶ 表現することの楽しさや喜びを知る。一インプロ（即興演劇）+吹奏楽コンサートを開催

教育

2022.09.08

▶ 鈴木悠太准教授が教育学の学術書の単著2冊（日本語と英語）を続けて公刊

教育

2022.08.19

▶ 「池上彰先生に『いい質問』をする会5」開催報告

活動報告

2022.08.03

▶ NHK Eテレ「SWITCHインタビュー達人達」に中島岳志教授が出演

研究

2022.07.28

▶ 歴史学と教育学 二つの専門をもとに目指す、東工大生の学びの基礎づくり

鈴木 健雄

2022.07.25

▶ どれだけ研究しても、まだわからない マルクス経済学は日本特有の古くて新しい学...

上原 慶

2022.07.14

▶ 学生の朝寝坊は生理的なもの？ 睡眠リズムを知って、より良い生活につなげよう

駒田 陽子

2022.07.12

▶ 自分の知識や技術を何のために使うのか それを考えさせるのが教養過程における私...

河西 棟馬

2022.07.08

▶ VUCA時代を生き抜く力を育む 東工大生こそ、そんな教員になれる

永原 健太郎

イベントも色々やります。コミュニケーションの一形態

←教員インタビュー：ILIAの先生語る。

ILAのビジョン

「学院」が提供する「理工系専門知識」という縦系と、
「リベラルアーツ研究教育院」が提供する「教養」という横系で、
東工大生の未来を紡ぎます。

リベラルアーツ研究教育院は21世紀社会の時代的課題を把握し、その中での自らの役割を認識する「社会性」、自らを深く探究する「人間性」、行動し、挑戦、実現する「創造性」を兼ね備え、より良き未来社会を築く「志」のある人材を育成します。



「志」ある東工大生の育成

ワークショップ企画プロデューサー の仕事の一例



屋久島に通って37年！
南部の尾之間モッチョム岳の麓に土地を
得、家まで建てました。
「本然庵」：本来の自然に戻る庵
人文ゼミで集中を計画したが、中止。



県・町・市民が屋久島の30年後を共に考える「イマジン屋久島」の中心メンバーと。2020春



20年6月には、屋久島の30年後を共に考える「イマジン屋久島」キックオフにズーム参加



5
参加者

チャット

画面を共有

レコーディング

反応

9月初め、実行委員会メンバーで「ビジョンづくりプレワークショップ」



少人数グループに分かれて、「屋久島らしさ(独自の強み)」を語り合う



各グループで出し合い、ポストイットに書いたものを、KJ法で整理し、まとめていく。

(1) 屋久島らしさ (独自の強み)

3拍子 山・川・海

三拍子 山・川・海
自然
山・川・海

自然の循環
を感じさせる
気候が
東西南北
で異なる

神の力での強み

神への畏れ
山がある
死とも感じ
ずに自然が
強い

数百年のものが
生かされる
人が自然と
地形

原始の森の多様性

森の多様性
がすごい
原生の
垂直分布
がスゴク!

原始のまろ
森(ルーツ
体感できる)
日本の全
森がある

水は水が物理的

水が
きれい
水の循環が
早い
水の循環が
早い

雨が降り
たい
雨が特別
でほしい
水が
うまい!

のめり
かかない
水

自然と人が共生

人が住んでいる
のに自然が
残っている
自然との
共生

人工物が
非常に少ない
五感で味わ
える体験

集落文化やおもてなし

おもしろ
な文化
屋久島
の歴史
がある

集落文化
が個性的
おもしろ
な文化
がある

世界中に
ない

世界中に
ない

自然体の多様な人が

多様な
人が
暮らす
自然体
で
生きた
人が
多い
自然に
惹か
れる
人が
多い

子供
が多い
人が
多い
感覚
が
鋭い
「ていつ
ていつ」
変化
が多い

自分に量り

自然の
島
人間に
戻れる

身も心も
自然に
なれる
欲求に
素直

自然の
出身
身辺

さらに30年後の社会に提供できる価値や得たい世評を検討し、発表し合い、統合していく。





SUPERIOR EASEL PAD
TABLEAU A FEUILLES MOBILES SUPERCOLLANTES
SUPERIOR EASY EASY DE HOJAS REPOSICIONABLES



30

25 IN/PO x 30 IN/PO
63.5 cm x 76.2 cm
5.2 SQ FT/PP (0.48 m²)

3M

イマジン屋久島のビジョン (2020.9.14 プレWS版)

1. 2050年、私たちが思い描き、創り出す屋久島は、

亜熱帯から亜寒帯までの多様な森林が残り、~~どこ~~ いたるところでも飲めるほど、きれいな水が流れている。縄文から人が暮らす里には、人間らしく自然体で生きる多様な人々が助け合っている。~~里~~ 奥山を詣でる「岳参り」は、^山自然への畏れと感謝を

とまいう独自の強みを活かし、

~~育~~み続けている。

2. きれいな水に象徴される豊かな自然と人々の暮らしが絶妙に調和し、世界の持続可能性の最先端モデルになっている。とともに、悠久の時間感~~覚~~を体験し、自然の一部である、あるがままの自分に還れる場である。

という価値を人や社会、世界に提供し

3. 「あるがままの自然と自分に還れる
いのち巡る島」

と呼ぶように、なっています。

2020.9.14

廣瀬 望 田中 俊：池川健一 鈴木 牛見 福元 泰士 野崎 燕

イマジン屋久島のビジョン（2021）に展開！

これからの屋久島を担う若手リーダーのつながりを育み、みんなで屋久島の現在/過去/未来から共に学び、次の30年もみんなが持続可能で豊かに生きることのできる「在りたい姿（ビジョン）」を共に探求。

想像し創造しよう みんなの屋久島 次の30年へ イマジン屋久島

imagine Yakushima



自然と共生…
屋久島憲章…



世界中から“自然との関わり” を学びにくる島へ

島内の小中学生や大人はもちろん、様々な世代が世界中から屋久島を訪れ、持続可能な社会のあり方を学ぶ仕組みや体制のある屋久島に学びます。多様な切り口の体験できる学びの場づくりを通して「水と木の循環」や、暮らしに関わる様々な課題を学べる島へと進化します。



水の島、屋久島 水のチカラで豊かに暮らす

この島の未来も、水の恵みでエネルギーを自給するだけでなく、島外へ供給できる屋久島へ、観光を業営に切り替えて環境負荷を減らしながら、豊かに屋久島の暮らしを続けます。



千年先の豊かさを想像しながら はぐくむ森づくり

島の暮らしを先延ばした森の仕事を改めて学び、これから先の未来も受け継いでいく仕組みが必要となります。森を守り、育むための木の伐採や植樹を体験したり、屋久島の木を活用したプロダクトを考え、つくって、届けます。先人たちが大切にしてくれていた森と人の営みを、千年先まで届けていく屋久島を目指してまいります。



屋久杉のように豊かに 安心して歳を重ねる島

心も体も輝くように生き生きと暮らし、調子よく暮らすことができる屋久島。歳を重ねても、安心して暮らせる介護サービスや、障害を関係なく暮らせる生活支援施設、ワークができるコミュニティ、お互いの特技を活かし、助け合いながら、それぞれが活躍し続けられる島のあり方を考えます。



子どもも大人も成長し続けられる 屋久島だからできる子育てを

地域で手を取り合いながら、子育てをする島。誰とどう地域とのネットワークやコミュニティがうまくつくり、安心して暮れる人に囲まれながら子育てができる、子ども達が思う存分に自然の中で遊ぶ、雨の日でも楽しめる子育ての島へ。「屋久島で子育てをした」と言われる島へと。



いつでもどこでも水が美味しい！



「山10日、海10日、里10日」 島の暮らし方を未来につなぐ

人口減少とともに薄れてきている、自然と調和した島の伝統的なライフスタイル。移住者や観光客、ITなどデジタルシフトのチカラを活かしながら、守るべき未来の持続可能な暮らしを想像して、未来を創造します。24歳層それぞれの持続可能なライフスタイルや伝統、文化を後世に継いでいくような仕組みを考えたいと思います。



世界に誇れる大自然で 屋久島をもっと遊び尽くす

世界的に見ても豊かで美しい自然を五感で感じる島でありつづける。アドベンチャーツーリズムや、様々な野外アクティビティの創出。環境負荷を下げながら、より楽しめる仕組みをつくります。

私たちが生態系に還る 地球の循環の中での暮らしへ

未来を心配するのではなく、未来を豊かに暮らすへと意図と行動を定めていきます。ゴミや廃材のリサイクル、自然や人にやさしい製品の選択など、未来への可能性を創っていくものを選択し、可能性をつなげる行動を増やしていくことで、私たちが先に期待できる未来を創っています。

夢を語り、夢を実現するための 垣根を越えたつながりを生む仕組み

様々なカタチで島の中に人が繋がります。そんなイベントやチーム、場所やプロジェクトが次々に起こっていく。島のみんなの努力がみんなに還元される。応援しあひあけあえる屋久島へ。みんなのアイデアを表現し活躍してくれるプラットフォームを。

はるか昔から 魂を揺さぶりつづけた 自然への畏敬の想いを受け継ぐ

森林の保全と活用で人々が苦しめ、苦しめてきた島であることを忘れて、屋久島の自然から受ける啓示を受け取り、島外に発信されるような、異文化と異なる自然に対する先人のあり方から、私たちが学び続け、それを体現し続けます。このことを通じて、「自然との共生」といふ人類としてのテーマを正しくとらえ、これからの未来の世代へと伝えていきます。



新しい風が運んでくる種 島の可能性を一緒に育む

新しい文化を運んでくれる島外からの人々を大切にします。観光客、移住者だけでなく、アーティストや研究者など様々な人が島外から島外へ移住したり、近隣の島々との交流を増やしたりなど、多様な人が住む島のあり方を大切にしています。



屋久島の今は？ 地球の今は？ 想像していこう、イマジン屋久島

みんながイマジンする屋久島に対して、今どこまで来れているのか？ 想像し、イマジン屋久島



森、川、里、海からつながっていく

仕事や食がつながりあり

ワークシヨップ (WS) とは

<キーワード1>

- “workshop” :
 - 工房、仕事場、共同作業場。一緒に創る場
- 「講義など一方的な知識伝達のスタイルではなく、参加者が自ら参加・体験して共同で何かを学びあったり創り出したりする、学びと創造のスタイル」 (『ワークシヨップ』中野、岩波新書、2001)
- 「参加」「体験」「相互作用」が鍵

＜キーワード2＞ ファシリテーション（F）とは

- “facilitate”

- 「促進する」「＜事を＞容易にする」

- 「人々が集い、何かを学んだり、対話したり、創造しようとする時、その過程を、参加者主体で、円滑かつ効果的に促していく技法」

（中野2012）

- 新しい時代のリーダー（シップ）＝「ファシリテーター型リーダー」

東工大 大教室、その他での展開

2018年のコミュニケーション論の教室。H101。机、椅子は固定で前向きにぎっしり。



そんな中でも工夫してクジで席を決め、4人組を作り、対話のある参加型授業を実践。



数年前のコミュニケーション論の様子

最後は百年記念館 1Fホールで小グループ対話



伝説の「えんたくん」

円形段ボールのシンプルな対話促進ツール。



2019年度コミュニケーション論A2回目。アクティブ・ラーニング対応型の平場教室で



第10回

蔵前立志セミナー

志をカタチにした先輩と語り合おう

“リアルタイム・
ダイナミック・リモート”

志

“人間の本質的欲求”

東工大生

OB / OG

講演
&

小グループでの対話

&
懇親会

“強い意志”

“SDGs”

価値創造—

人間の本質的欲求の追求とICTの役割



講師

遠藤 信博 氏 (S51電子 S53修 S56博)

日本電気株式会社 代表取締役 会長

人間は「価値創造」という活動を通して、社会で活かされることで初めて生きることが出来る。その価値創造の根本にあるのは、人間の本質的欲求の理解である。爆発的な人口の増大が、深刻な資源の逼迫をもたらす時代を前に、AIに代表されるICTが飛躍的な進歩を遂げて、社会を大きく変えようとしている。各分野で優れた技術能力を有する東工大生の皆さんと、私自身の経験も交えながら、これからの価値創造のあり方と心構えについて考えてみたい。

日時:

7月9日 (火)

17:00~20:30

内容 : 講演会 (17時~18時45分) 於 東工大蔵前会館1階くらまえホール

17時~ 講師による講演

18時~ 小グループでの対話(学生と卒業生との対話) ※対話開始以降の入室不可

懇親会 (18時50分~20時30分) 於 同 ロイヤルブルーホール

* 飲物・おつまみの用意がございます

対象者 : 東工大在大学生・卒業生・教職員・ならびに関係者

参加費 : 1,000円(懇親会費を含みます)、**東工大生無料**

申込み : 下記サイトまたは右下のQRコードからご登録下さい。

<https://www.kuramae.ne.jp/kuramaerisshi/>

問合せ : 蔵前工業会東京支部事務局

E-Mail : kuramae-tokyo@deluxe.ocn.ne.jp

電話 : 03-3748-4447 (平日午後のみ)

申込み締め切り

7月8日(月)

QRコード
はこちら!



主催 : 蔵前工業会東京支部・東工大リベラルアーツ研究教育院 共催 : 蔵前工業会・東京工業大学

発行 : 蔵前工業会学生分科会広報班

東工大は元々、蔵前にあった、という話、知ってますよね。

OB/OG組織を「蔵前工業会」といいます。

日本全国や世界各地で、先輩方が大活躍。皆さんもそのコミュニティの一員ですよ。

多様な先輩が来て、話をしてくれるセミナー (+ 懇親会) が年4回。ILAとの共催で。

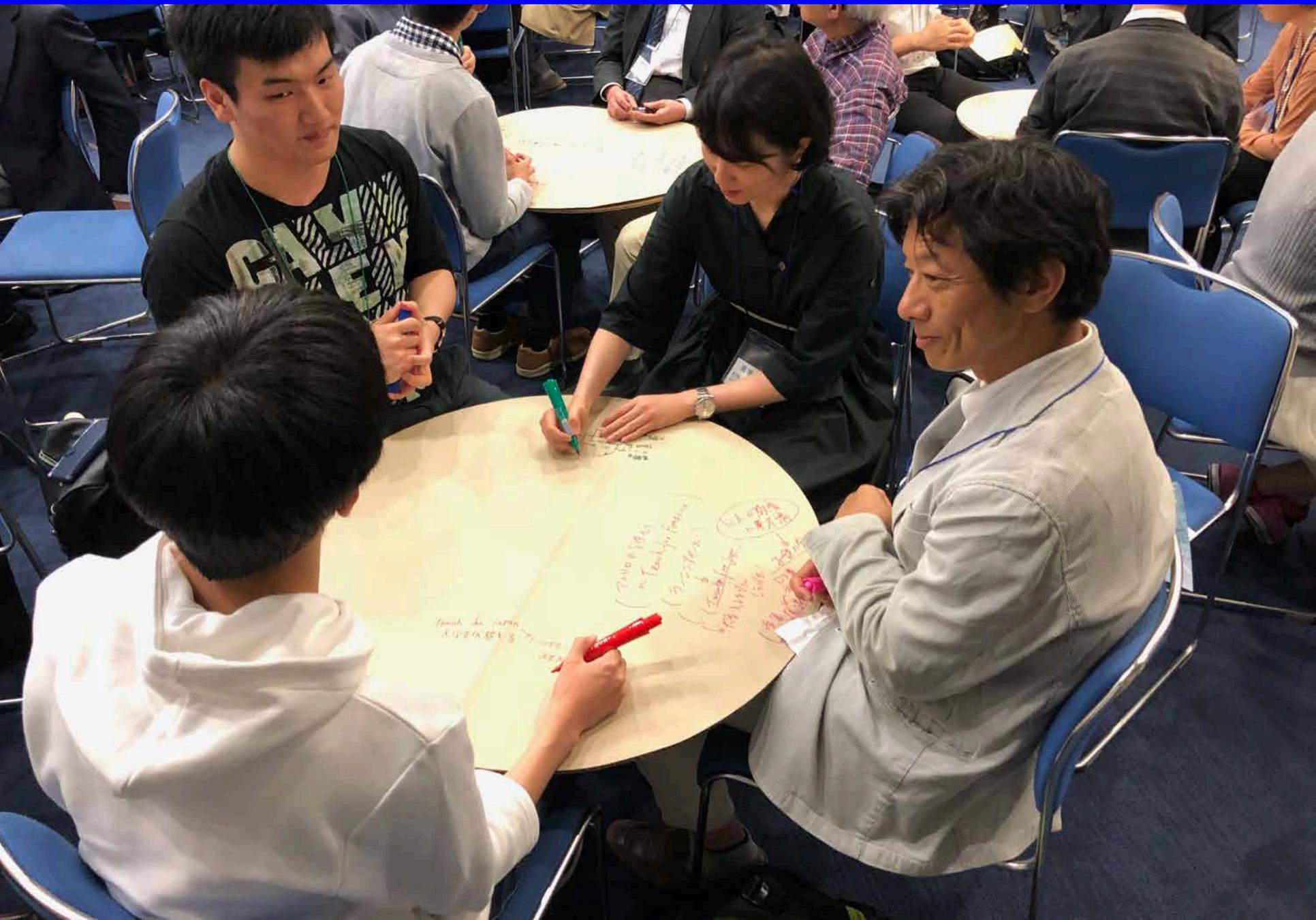
教養を広げ、キャリアについて考え、多様な人々と対話するチャンスです。

2年間オンラインでしたが、10月19日は久々の対面！ぜひ参加を！

社会人と学生が混じり合うよう綿密に席を準備し、講演後にえんたくん対話



異年齢の学生、教員、職員、OB/OGが混じり合う。懇親会も真の交流に



「東工大ステートメント」 私たちは何者であるのか？

これもワークショップの結晶

<https://www.titech.ac.jp/tokyotech2030/>

この世界にまだ、
ないものを見つけ、
創りだせた喜びそして、
世界の人々の幸せに
つなげていく喜び
私たちは、その喜びを
手にできる入り口にいる

だから、何万回という
失敗を楽しめる
闇の中を一人で進み続け
たったひとつの答えを
探し続けることができる
同じ夢を見る人と、
国境も領域も超えて
つながり共に動き続ける
ことができる

ここには、そんな思いを持つ人たちがいる
予定調和の結論はいらない
前例のあることに興味はない
風変わりなヤツだと言われてもかまわない

何故なら、私たちには私たちにしか見えない
未来があるのだから
東京工業大学

ちがう未来を、
見つけめていく。

まだ、見たことのないこと
まだ、触れたことのないこと
まだ、信じられていないこと
まだ、想像さえできないこと

SCROLL DOWN

いいね! 95

シェア

ツイート

Spirit

ちがう未来を、見つめていく。

まだ、見たことのないこと
まだ、触れたことのないこと
まだ、信じられていないこと
まだ、想像さえできないこと

この世界に

まだ、ないものを見つけ、創りだせた喜び
そして、世界の人々の幸せにつなげていく喜び
私たちは、その喜びを手にする入り口にいる

だから、何万回という失敗を楽しめる
闇の中を一人で進み続け
たったひとつの答えを探し続けることができる
同じ夢を見る人と、国境も領域も超えてつながり
共に動き続けることができる

ここには、そんな思いを持つ人たちがいる
予定調和の結論はいらない
前例のあることに興味はない
風変わりなヤツだと言われてもかまわない
何故なら、私たちには私たちにしか見えない
未来があるのだから

Action

尖らせる

私たちは知の源泉は、個人の多様性と先鋭性の中にあると考える。だからこそ、高い「志」を何よりも大切にし、基礎領域から応用領域まで、自由な研究と発想を尊重する。それとともに、"Student-centered"を教育理念に置いて、学生の主体的な学びを重んじることで、世界で活躍する人材の育成を目指していく。

共鳴する

私たちはこれまでの垣根を超えて、新領域・融合領域の教育研究をさらに進める。個人の専門性を尊重しながら、大学が「知の共鳴場」となって、新しい知を持続的に生み出していく。さらに世界との協働、社会との連携を進め、開かれた教育研究機関として、新しい理工系総合大学の形を世界に先駆け実現していく。

実装する

私たちは新たなイノベーションで人々の生活を豊かにするために、大学から生まれた知を様々な形で社会に実装していく。産学連携研究の進化、科学・技術のコンサルティング、アントレプレナーシップ醸成、ベンチャー育成・支援。本学の変わらぬ理念である「新産業の創造」を未来に起こしていくために動き出す。

The background features a collage of images showing students in various settings, such as working at computers or in a library. Overlaid on this are several black silhouettes of birds in flight, scattered across the page. The text is overlaid on a background of large, overlapping geometric shapes in shades of green, blue, and red.

学生/教員/職員/卒業生全員集合！

東工大の未来を

語り合う

大ワークショップ

～2030年に向けた東京工業大学のステートメント
「ちがう未来を、見つめていく」をもとに～

2017年11月22日（水）14:00～17:30 + α

学生・教員・職員・OB全員集合！東工大の未来を語り合う大ワークショップへ！



東工大HPニュースに大きく掲載。対話から共創・協働の文化へ

後半に「大ワークショップの紹介動画」 <https://www.youtube.com/watch?v=BnGWwU9RQU>

[トップページ](#) > [東工大ニュース](#) > [学生、教職員、執行部、卒業生200名を集め「東工大の未来を語り合う大ワークショップ」を開催](#)

東工大ニュース

カテゴリ別

教育

研究

社会連携

国際交流

受賞・表彰

学生の活躍

開催報告

来訪者

メディア

大学からのお知らせ

プレスリリース

月別

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

学生、教職員、執行部、卒業生200名を集め「東工大の未来を語り合う大ワークショップ」を開催

いいね! 141

ツイート

開催報告

RSS

2017.12.19

11月22日、東工大を支える各構成員のうち総勢207名（学生60名、教員53名、職員66名、執行部・卒業生28名）が大岡山キャンパス生協第一食堂2階コミュニケーション・ラウンジに集まり、「学生・教員・職員・卒業生全員集合！東工大の未来を語り合う大ワークショップ～2030年に向けた東京工業大学のステートメント『ちがう未来を、見つめていく。』をもとに～」が開催されました。本学でも最大規模となった本ワークショップでは、多様な学内関係者が1つの卓を囲み、東工大の一員として「対等」な立場で参加することを合言葉に、東工大の現在とこれからについて熱く語り合い、大いに盛り上がりました。





DLab

Laboratory for Design of
Social Innovation in Global Networks



Follow Us  

Language Ja 



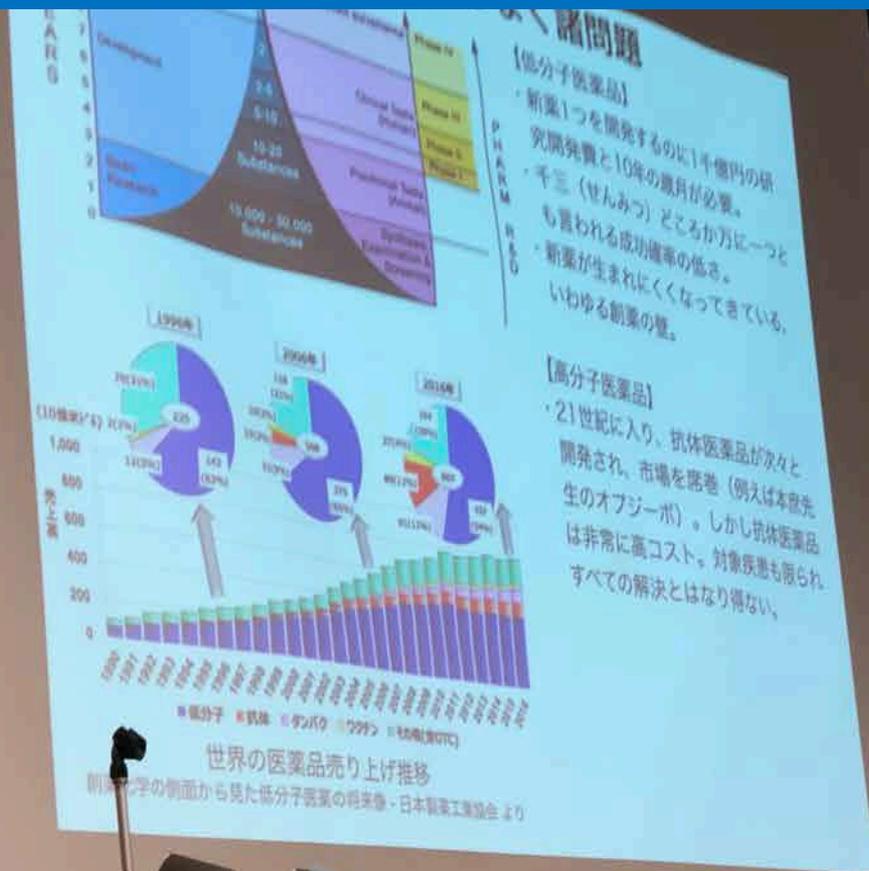
社会とともに「ちがう未来」を描く

未来社会DESIGN機構

東工大未来社会デザイン機構(DLab) キックオフワークショップ(2018.10.28)

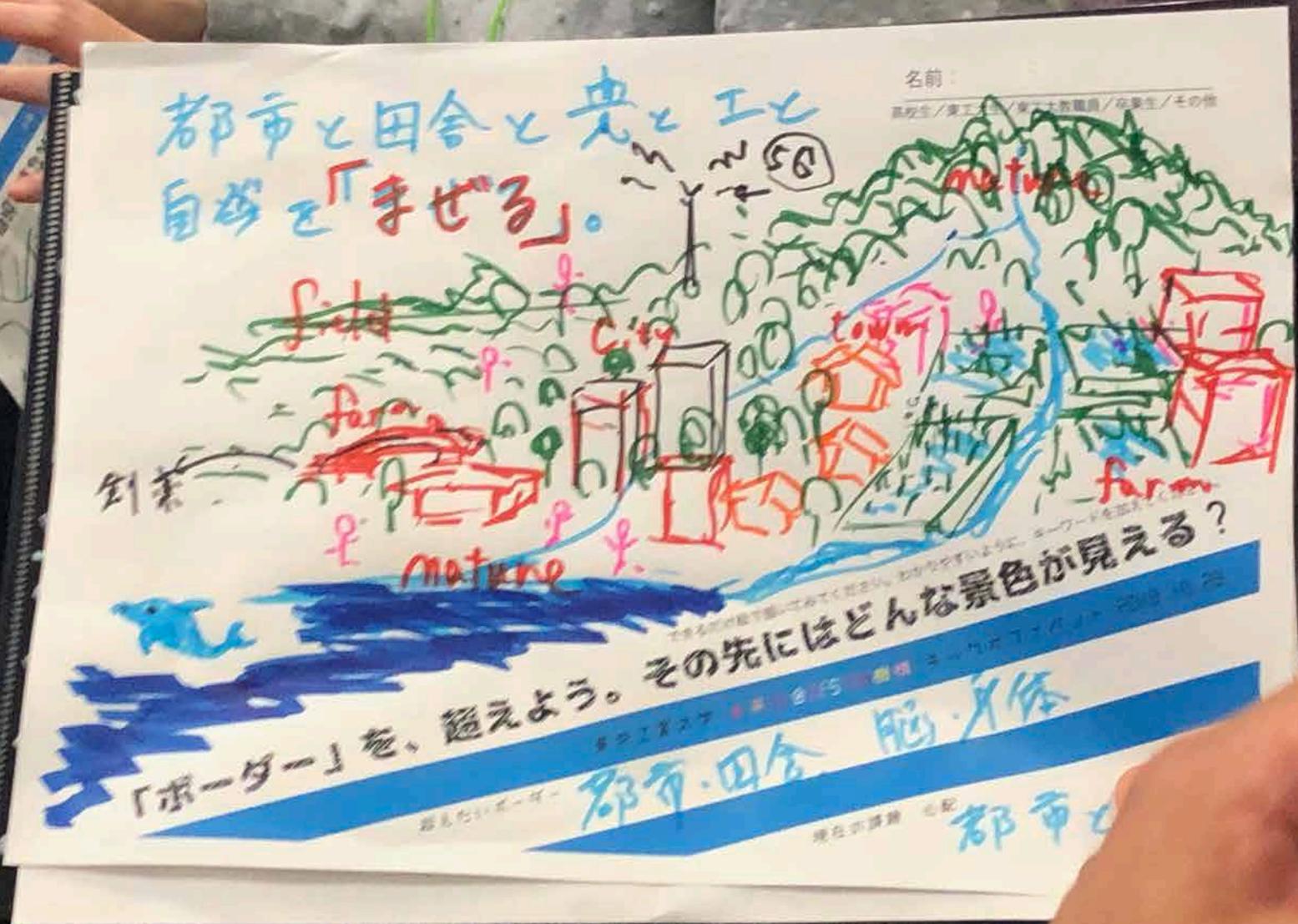








ある参加者のボーダーを超えて創りたい未来像。都市と田舎、農と工と自然をまぜる。





#16 中村龍平 「深海の熱水噴出孔で生命が生まれた？」 × 中野民夫 Tokyo Tech DLab "STAY HOME, STAY GEEK" 研究者インタビュー

150 回視聴 • 2020/06/05 👍 5 🗨️ 0 ➦ 共有 🔖 保存 ⋮



東京工業大学
チャンネル登録者数 2140人

チャンネル登録

新型コロナウイルス感染症の社会状況を受けて、東京工業大学 未来社会DESIGN機構 (DLab) から、東工大の研究者の対談をリレー方式で繋ぐ連載企画をスタートしました。第16回は、地球生命研究所の中村龍平 教授をリーダーシップ教育院 中野民夫教授がインタビュー

次の動画

自動再生



東京工業大学 生命理工学院 「生命...
東京工業大学
3469 回視聴 • 4 年前



#23 川名晋史 「コ
ロナ禍の本質を考...
東京工業大学
4 回視聴 • 1 時間前
新着



#7 千々和伸浩 「社
会も学問も垣根が...
東京工業大学
259 回視聴 •
1 か月前



Wolfgang Amadeus
Mozart: Clarinet...
Iceland Symphony ...
Recommended for
you



#1 岡田健一 「通信
のインフラとして...
東京工業大学
1260 回視聴 •
1 か月前



#12 塚原剛彦 「ナ
ノの容器で見えな...
東京工業大学
166 回視聴 •
3 週間前



プログラム

Day1 (第1日目) シンポジウム

1. "Introduction & Activities" (DLabの2021年度の活動紹介)
2. "未来社会の種"—学生の描く未来社会像— (「未来社会デザイン入門」受講学生による未来社会像の発表と講義に参加した「DLabパートナーズ」の紹介)
3. "未来研究の芽"—未来社会を創出する研究を支援— (研究奨励金「DLab Challenge (ディーラボ・チャレンジ)」の採択者による研究紹介&パネルトーク)
4. "未来創造の幹"—DLab Future Techscapers (ディーラボ・フューチャー・テックスケーパーズ) 動画シリーズ— (未来シナリオ実現につながる研究を考えるパネルトーク)
5. クロージング

Day2 (第2日目) ワークショップ

1. オリエンテーション
2. キーノートスピーチ1「コロナウイルスとは何だったのか？」山口雄輝教授 (生命理工学院 生命理工学系)
3. キーノートスピーチ2「FUTURE: re-generative 未来を再生せよ！」松島倫明『WIRED』日本版 編集長
4. グループワーク、個人ワーク

2022年3月オンライン
DLab ダイアログ・デイ
(東工大が社会と対話しながら未来を考える場)

学生による未来社会像の
発表も
4Q未来社会デザイン入門受講
生の優秀作を発表し好評

2023年も1月28日に開催決定！

この7月、ここで、高尾先生とコミュニケーション論A：ワールドカフェで対話



「会話」と「対話」と「議論」の違い

丁寧に分けて検討していきたい。

- 「**会話**」 (conversation)
 - 特定の目的や結論のない、おしゃべり、雑談。
 - 社交や情報を得る上で重要。オンライン時代に注目
- 「**対話**」 (dialogue)
 - 特定のテーマについて、きちんと向かい合って話し合うこと。二人には限らない。
 - 勝ち負けはなく、**新たな「創造」**につながる話し合い。
 - 自分の意見に固執せず「**想定**の**保留**」が大事！（D.ボーム）
- 「**議論**」 (discussion)
 - 元々、どちらの意見が正しいか、**正解**を競うもの。
 - **勝ち負け**がある（典型例はディベート）。**結論**が求められる。
 - *但し、日本では「ディスカッション」を幅広い意味で使う。

googleフォーム:フィードバックシート記入 授業をふりかえって、気づき・発見、学び・提案 今日中に(出席確認兼ねる)

- 紙のフィードバックシートとGoogleフォーム、どっちがいい？
- 今日は紙のフィードバックシートに記入を。色々試します。
- <https://docs.google.com/forms/d/13eRhiswelv9uIfPCvml8vihtO2eWSS-V7aDWkHdd6Zw/edit>
- 万一、授業にフル参加してなかったのに、このシートを書いて提出するのは不正行為。
- 東工大ルールで当Qの全ての授業の単位が取り消されますので注意してください。

22コミュニケーション論Bフィードバックシート
今日の気づき・発見、学びを書いてください

学籍番号
記述式テキスト (短文回答)

氏名
記述式テキスト (短文回答)

気づき・発見、学び
記述式テキスト (長文回答)

必須